

1 都市計画

【関連する SDGs の主な目標】



施策のめざす姿

人口が減少する中であっても、充実した都市機能が維持され、市民が安全で快適に暮らす、スマートでコンパクトな都市が実現しています。

現状と課題

- 市の人口は、平成 17 年(2005 年)をピークに減少し、高齢化率は上昇しています。人口定住対策や働く場の創出を行い、多様な世代が暮らしやすい都市づくりを行う必要があります。
- 市の玄関ともいえる津島駅周辺や目抜き通りである天王通りの活気が失われ、空き家や空き地による都市のスポンジ化が進行しています。
- 市街地全体の活力向上につながるよう、名鉄津島駅をはじめとする既存ストックの再整備に取り組み、地域の価値を高める必要があります。
- 社会経済情勢の変化への対応や、高い確率で発生が予測される大規模地震への事前対策として、適時適切な都市計画の見直しが必要となっています。

まちづくり指標

指標	現状値 (2019 年)	目標値	
		2025 年	2030 年
魅力あるまちの形成に満足している市民の割合(%)	5.5	8.1	10.8
土地の有効活用と環境整備に満足している市民の割合(%)	10.5	13.2	15.9
総人口に占める若年子育て層(20 歳～39 歳)の総数と割合(人・%)	12,239 人 19.5%	12,350 人 20.0% 以上	12,500 人 22.0% 以上

施策の方針

(1) 快適でにぎわいある安全なまちづくり

- 市の活性化に向け、周辺の環境と調和が図られた暮らしやすく活力ある都市の実現のために、スマートでコンパクトなまちづくりを進めます。
- 本市固有の歴史文化資産を活用して魅力的でにぎわいがある、誰もが歩きたくなる市街地の形成に向け、行政や民間、そして市民と一体となって、名鉄津島駅周辺、天王通りや本町筋、天王川公園や津島神社などにおいて、魅力的な公共空間の創出を促進します。
- 名鉄津島駅は、本市の正面玄関としてふさわしい魅力ある都市拠点をめざし、駅と周辺のまちが一体的に感じられ、便利で使いやすく、さらには多くの人が愛着や誇りを持てるような魅力ある環境整備を行います。
- 国土強靱化計画の推進方針に基づき、防災・減災を踏まえた拠点施設や避難路の整備のほか、速やかに復興・復旧体制に移行できるよう、事前復興に関するまちづくり方針を策定し、災害リスクに対応した安全な都市形成を推進します。

《関連計画》『津島市都市計画マスタープラン』（2021-2030）『津島市立地適正化計画』（2022-2040）
『津島市国土強靱化地域計画』（2021-）『都市再生整備計画』（2020-2024）
『社会資本総合整備計画』（2021-2025）

(2) 社会情勢の変化に対応したまちづくり

- 機能的な都市活動の確保に向け、指定用途が現況の土地利用と大きく隔たる地域や、高度利用が図られていない地域について、用途地域の見直しのほか、土地利用を促す施策を進めます。
- 都市計画道路をはじめとする都市計画施設は社会情勢の変化を踏まえて計画の見直しを行い、重要性の高い施設の重点的な整備をめざします。
- 身近な緑の保全や都市洪水の抑制を目的に、市街化区域内農地の保全に努めます。

《関連計画》『津島市都市計画マスタープラン』（2021-2030）『津島市緑の基本計画』（2021-2030）